

第42期

中間事業報告書

平成17年4月1日から平成17年9月30日まで



株式会社 **アールエス物流**

株主の皆様へ



初冬の候、株主の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。ここに『第42期中間事業報告書』をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

当中間期の我が国経済は、前半は「景気の踊り場」と言われる状況が続いたものの、夏場からはIT関連の在庫調整も一巡し、景気の回復基調が見られるようになりました。

このような事業環境の中、当社グループでは、顧客の航空貨物ニーズの増大に対応するため、国内外の航空貨物の多機能物流拠点として、成田地区に新倉庫を竣工し、4月より営業を開始するなど、グローバルな物流体制の整備拡大、事業基盤の強化を進めてまいりました。

当中間期の連結業績につきましては、売上が合併による増加分も加わり、前年同期比20%増の269億円に、営業利益も7%増の25億円と増収増益を達成することができました。

さて、顧客の海外への生産シフトが進展する中、グローバルな物流ニーズはますます高まっております。当社グループにおきましては、グローバル・ネットワークの拡大および営業強化を目的に新拠点として中国に「上海アルプス物流国際貨運代理有限公司」を、メキシコに「アルプス・ロジスティクス・メキシコ」を設立いたしました。この下期より営業を開始し、業容の拡大を図ってまいります。

また、TDK物流㈱との合併から約1年が経過いたしました。これまで、輸配送ネットワークの統廃合、隣接拠点の統合・貨物の集約等を進めてまいりました。この下期を合併総仕上げの時期と位置付け、倉庫管理システムの統合等、保管事業を中心に更なる合理化に努めてまいります。

日本の景気は明るさを取り戻しておりますが、原油高や金利上昇が経済に及ぼす影響も懸念され、年末以降の景気は不透明感が出てきております。当社といたしましては、更なる物流現場の強化・進化を図り、顧客ニーズに合った物流サービス・商品を創出し、拡販活動を進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年12月

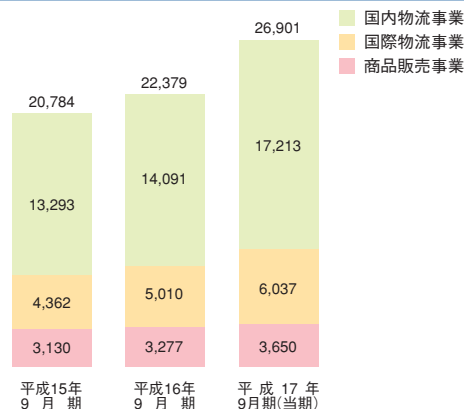
代表取締役社長 安間洋一

中間決算ハイライト

◆主要な連結経営指標等の推移

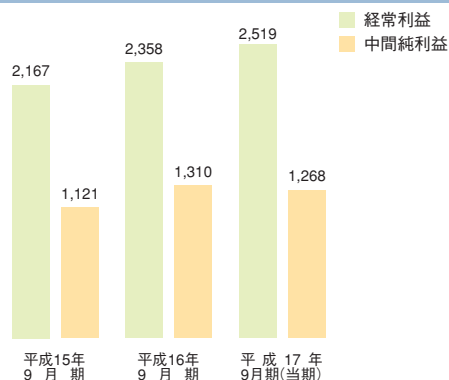
項目	平成16年 9月期	平成17年 9月期(当期)	前年同期比 増減
売上高	22,379百万円	26,901百万円	20.2%増
経常利益	2,358百万円	2,519百万円	6.8%増
中間純利益	1,310百万円	1,268百万円	3.3%減
1株当たり 中間純利益	80円44銭	71円67銭	8円77銭減
株主資本 中間純利益率	7.9%	6.2%	1.7%減
売上高 中間純利益率	5.9%	4.7%	1.2%減
総資産	36,090百万円	40,339百万円	4,249百万円増
株主資本	17,037百万円	20,949百万円	3,911百万円増
株主資本比率	47.2%	51.9%	4.7%増
1株当たり 株主資本	1,045円63銭	1,183円85銭	138円22銭増
設備投資額	1,027百万円	483百万円	543百万円減
減価償却 実施額	522百万円	634百万円	112百万円増
中間期末 従業員数	2,454人	2,929人	475人増

セグメント別売上高の推移 (百万円)

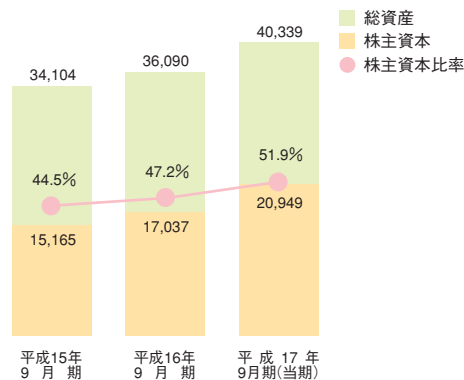


※ 各セグメントの売上高は、セグメント間取引消去前の数値です。

経常利益・中間純利益の推移 (百万円)



総資産・株主資本・株主資本比率の推移 (百万円)



連結要約財務諸表

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

◆ 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	平成17年9月期 (平成17年9月30日現在)	平成17年3月期 (平成17年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	17,938	18,059
現金及び預金	7,421	7,909
受取手形及び営業未収金	8,120	7,767
繰延税金資産	701	614
その他	1,696	1,780
貸倒引当金	△ 1	△ 12
固定資産	22,401	22,516
有形固定資産	18,989	19,164
建物及び構築物	10,424	10,606
機械装置及び運搬具	1,143	1,145
工具器具備品	495	483
土地	6,923	6,923
建設仮勘定	3	5
無形固定資産	887	897
投資その他の資産	2,523	2,454
投資有価証券	495	415
繰延税金資産	458	461
その他	1,612	1,620
貸倒引当金	△ 42	△ 43
資産合計	40,339	40,575

科目	平成17年9月期 (平成17年9月30日現在)	平成17年3月期 (平成17年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	10,886	12,630
支払手形及び営業未払金	4,084	4,091
短期借入金	2,208	2,740
賞与引当金	1,043	850
その他	3,549	4,948
固定負債	6,623	6,519
長期借入金	5,536	5,484
退職給付引当金	852	659
役員退職慰労引当金	224	359
その他	10	15
負債合計	17,509	19,150
少数株主持分	1,880	1,779
(資本の部)		
資本金	2,349	2,349
資本剰余金	2,029	2,029
利益剰余金	16,610	15,562
その他有価証券評価差額金	128	80
為替換算調整勘定	△ 118	△ 325
自己株式	△ 50	△ 50
資本合計	20,949	19,646
負債、少数株主持分及び資本合計	40,339	40,575

◆ 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	平成17年9月期 (平成17年4月1日 ～17年9月30日)	平成16年9月期 (平成16年4月1日 ～16年9月30日)
売上高	26,901	22,379
売上原価	22,945	18,683
販売費及び一般管理費	1,428	1,329
営業利益	2,528	2,366
営業外収益	101	74
営業外費用	110	82
経常利益	2,519	2,358
特別利益	13	14
特別損失	269	5
税金等調整前中間純利益	2,263	2,367
法人税、住民税及び事業税	908	965
法人税等調整額	△ 113	△ 89
少数株主利益	200	181
中間純利益	1,268	1,310

◆ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	平成17年9月期 (平成17年4月1日 ～17年9月30日)	平成16年9月期 (平成16年4月1日 ～16年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,994	1,696
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,721	△ 1,333
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 832	△ 706
現金及び現金同等物に係る換算差額	127	14
現金及び現金同等物の増減額	△ 432	△ 329
現金及び現金同等物の期首残高	7,648	6,595
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,216	6,266

単独要約財務諸表

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

◆中間貸借対照表

(平成17年9月30日現在)

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	9,996	流動負債	7,072
現金及び預金	3,711	支払手形・営業未払金	3,270
受取手形・営業未収金	4,987	短期借入金	1,619
繰延税金資産	459	未払法人税等	574
その他	838	その他	1,606
貸倒引当金	△ 1	固定負債	2,189
固定資産	16,485	長期借入金	1,741
有形固定資産	12,319	退職給付引当金	389
建物	5,859	役員退職慰労引当金	58
土地	5,479	負債合計	9,261
その他	980	(資本の部)	
無形固定資産	546	資本金	2,349
投資その他の資産	3,620	資本剰余金	2,029
投資有価証券	487	利益剰余金	12,765
関係会社株式	1,109	その他有価証券評価差額金	126
その他	2,030	自己株式	△ 50
貸倒引当金	△ 7	資本合計	17,219
資産合計	26,481	負債・資本合計	26,481

◆中間損益計算書

(平成17年4月1日～17年9月30日)

(単位：百万円)

科目	金額
売上高	15,288
売上原価	12,678
販売費及び一般管理費	1,062
営業利益	1,547
営業外収益	244
営業外費用	66
経常利益	1,724
特別利益	1
特別損失	93
税引前中間純利益	1,632
法人税、住民税及び事業税	552
法人税等調整額	60
中間純利益	1,019
前期繰越利益	387
中間未処分利益	1,407

※財務諸表は、中間財務諸表等規則により作成しています。

トピックス

上海、メキシコに新現地法人を設立

当社グループは、これまで中国・上海地区では、保税区内での保管・運送を中心としたアルプス物流（上海）と、保税区分外でのフォワーディング事業を中心とした天津泰達アルプス物流の上海支店の2法人体制で事業を行ってまいりました。

顧客企業の進出増加に伴い、昨今、保税区分外も含め、華東地域でのビジネス・チャンスが拡大しております。

このような中、当社グループでは、既存の2社を統括・連携しての総合物流サービスの提供および華東地域を中心とした営業機能の強化を目的に、11月に「上海アルプス物流国際貨運代理有限公司」を設立いたしました。

同社はCEPA（香港と中国本土間の経済貿易緊密化協定）の制度を活用し、当社の香港現地法人が100%出資する独資会社の形態をとっております。

今後、同社を中心に華東地域での事業展開に向けて営業・フォワーディング・保管・運送を一元化した業務体制の整備を進めるとともに、寧波での支店設立、更には華南地域への支店展開を検討してまいります。

また、この9月にメキシコ・レイノサ市に現地法人として

「ALPS LOGISTICS MEXICO, S.A. de C.V.」を設立いたしました。

これまで当社グループは、北米では2002年よりALPS LOGISTICS (USA) にて、輸入貨物の取扱を中心として事業展開を図ってまいりました。今般、米国・メキシコにおけるフォワーディングおよび保管事業の一貫サービス体制を確立するため、米国現地法人の100%出資でメキシコ法人を設立したものです。

2006年1月より、レイノサでのアルプスグループの倉庫業務を開始し、順次、事業拡大を図ってまいります。



経済成長の続く上海・市街地



アルプス・ロジスティクス・メキシコ外観

広東アルプス物流で新倉庫建設

広東アルプス物流は、電子部品の大生産地である中国華南地域で事業展開を図ってまいりましたが、取扱貨物量の増加に対応し、第2倉庫の建設を進めており、本年12月末の完成を予定しております。

第2倉庫は、現在の倉庫の敷地内に位置し、4階建て、総床面積15,400m²（1フロア当り3,850m²）の規模となります。倉庫前面及び背面の双方に高床式プラットホームを設置し、コンテナ車による輸出入貨物の取扱い等にも適した構造となっております。

華南地域は、昨今、自動車メーカーの進出が相次ぎ、ますます活況を呈しております。当社グループでは、華南地域でも拠点・ネットワークの拡充を進め、拡販に努めてまいります。



広東アルプス物流第2倉庫完成予想図

当社 長迫相談役が各賞受賞

当社相談役（前会長）長迫令爾が9月に中国・上海市より、「白玉蘭記念賞」を、10月には日本ロジスティクスシステム協会より、「物流功労賞」をそれぞれ受賞いたしました。

長迫相談役の上海の物流業界発展に対する真摯な取組みや、VMIサービスの展開など物流システムの効率を高めたことが評価され、今回の受賞となりました。



上海での受賞式

拠点の状況（平成17年12月8日現在）

国内営業所

盛岡、秋田、北上、北上後藤野、庄内、古川、仙台、相馬、小名浜、郡山、新潟、羽生、高崎、松戸、成田、横浜、長野、静岡、相良、名古屋、瀬戸、富山、大阪、東大阪、東京港センター

国内法人

株式会社流通サービス 株式会社流通運輸

海外法人

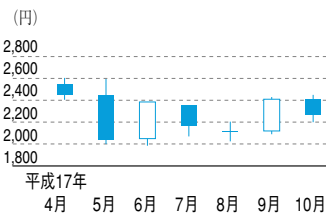
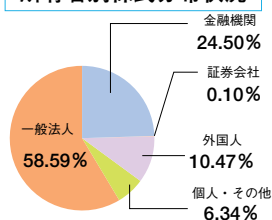
アルプス物流香港有限公司	アルプス・ロジスティクス(シンガポール)プライベート・リミテッド
アルプス物流(上海)有限公司	アルプス・ロジスティクス(USA)インク
アルプス・ナイガイ・ロジスティクス(マレーシア) SDN.BHD.	天津泰達アルプス物流有限公司
大連泰達アルプス物流有限公司	広東アルプス物流有限公司
上海アルプス物流国際貨運代理有限公司	アルプス・ロジスティクス・メキシコ S.A. de C.V.
上海東軟時代物流軟件有限公司	

株式の概況（平成17年9月30日現在）

株主数 1,441名

株価の推移

所有者別株式分布状況



前相談役 片岡勝太郎 死去のお知らせ

アルプス・グループの創業者である片岡勝太郎が10月23日永眠いたしました。満89才でした。

当社におきましても、永年にわたり今日の発展のためにご尽力いただきました。

当社は、これからも創業者から受け継いだ精神を次代へ確実に伝承していくことを社員一人ひとりが誓い合うとともに、株主の皆様には、前相談役の在職中に格別のご厚誼を賜り衷心よりお礼申し上げます。

会社の概要

(平成17年9月30日現在)

社名	株式会社アルプス物流
英文社名	ALPS LOGISTICS CO., LTD.
本社所在地	〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1756 TEL.045-531-4133 (代表)
設立	昭和39年7月2日
資本金	23億4,904万円
発行済株式総数	17,737,200株
社員数	736名
運行車両数	483台
倉庫面積	205,179㎡
主な事業内容	1. 貨物自動車運送事業 2. 貨物運送取扱事業 3. 保管事業 4. 輸出入貨物取扱事業 5. 通関業 6. 利用航空運送事業 7. 航空運送代理店業 8. 包装資材販売事業 9. 成形材料販売事業 10. 金属回収事業
ホームページアドレス	http://www.alpsbutsureyu.co.jp/

株主メモ

決算期	年1回 3月31日
定時株主総会	6月下旬
株主確定基準日	定時株主総会・利益配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 その他予め公告する日時
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	東京証券取引所市場第2部
名義書換代理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号
(電話照会先)	TEL.0120-707-696 (フリーダイヤル)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店
貸借対照表および損益計算書掲載のホームページアドレス	http://www.alpsbutsureyu.co.jp/kessan.html

※住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各
用紙、および株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフ
リーダイヤル0120-864-490で24時間承っております。



アルプス物流



この印刷物は再生紙を使用しています。